

2026年09月09日
株式会社記録と記憶

実写撮影ゼロ・最短10日間で、企業の「物語」をアニメーションに 生成AIフル活用の「物語アニメーション」制作モデルを確立

～第1弾として「顧客理解」と「事業承継」を
テーマに描くオリジナル2作品を公開～

株式会社記録と記憶(本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：有馬 顕、以下「当社」)は、生成AIをフル活用し、実写撮影を一切行わずに、企業のマーケティングや経営の課題を描く「物語アニメーション」を制作するモデルを確立しました。映像表現は全編を生成AIが担う一方、脚本・音楽・声など人の心を動かす要素は人がリードする分業設計により、撮影に伴う工程を省いて制作コストを大幅に抑制。集中制作体制であれば、最短10日間で本格的な物語アニメーションを完成させることが可能です。その実証第1弾として、「顧客理解」と「事業承継」をテーマにしたオリジナルアニメーション2作品を、当社Webサイト(<https://kirokutokioku.jp/movie>)にて、本日、2026年9月9日公開しました。

■本リリースのポイント

- ・ 実写撮影ゼロ、全編生成AIによるアニメーション制作モデルを確立、ロケ・撮影・キャスティングの工程を省き、制作コストを大幅に抑制
- ・ 脚本・音楽・声など、人の心を動かす要素は人がリード、「AIの生産性 × 人の物語と表現力」の分業設計が特長
- ・ 集中制作体制なら、本格アニメーションの制作期間最短10日間を実現、第1弾2作品(テーマ：「顧客理解」「事業承継」)を公開し、企業向け制作サービスの提供を開始

■制作モデル確立の背景

企業の動画活用は、多額の予算を投じるテレビCMと、自社リソースで内製するSNS動画とに二極化が進んでいます。その中間にある「CMほどの費用をかけずに、製品や企業の物語を、ターゲットの心を動かす品質で届けたい」という需要は高まる一方、それに応える制作手法は確立されていませんでした。当社は「物語であふれる豊かな世の中をつくる」をビジョンに、企業のマーケティング・戦略構築支援と物語コンテンツ制作を展開しており、これ

まで培ったマーケティングと物語生成の知見に生成AI技術を組み合わせることで、この市場の空白を埋める制作モデルを構築しました。

■制作モデルの3つの特長

1. 実写撮影ゼロ、全編生成AIによるアニメーション制作

ロケ・撮影・キャスティングを一切行わず、複数のシーンで構成される物語動画(今回の作品はいずれも全15シーン)の全編を生成AIで構築します。実写に伴う工程がなくなること
で、制作コストを大幅に圧縮できます。今回はアニメーションですが、実写風人物動画にも対応可能です。

2. 脚本・音楽・声など、人の心を動かす要素は、人がリード

生成AIが担うのは「表現の実装」であり、人の心を動かす要素は人がリードします。物語の設計・脚本は、戦略づくりの基本フレームであるWho?(顧客理解)× What?(提供価値)に基づき、人の手で構築。主題歌は作詞・楽曲制作・歌唱のすべてを人によるオリジナルとして制作し、物語のクライマックスと楽曲を一体で設計しています。登場人物の声も声優が演じ、生成AIだけでは困難な感情の機微を表現します。「AIの生産性 × 人の物語と表現力」の分業により、限られた予算内でも、感情を揺さぶる物語の制作を可能にしています。

3. 集中制作体制なら、本格アニメーションの制作期間最短10日間を実現

脚本が確定すれば即座に映像生成へ着手でき、修正も「撮り直し」ではなく再生成で対応できます。この短い制作サイクルにより、集中制作体制であれば最短10日間で、主題歌付きの本格的な物語アニメーションを完成させることが可能です。制作期間が課題となりがちだった企業向けアニメーションを、キャンペーンや周年などのスケジュールに合わせて機動的に制作できます。

■公開作品

「6年目の私 ～コンビニスイーツ開発物語～」

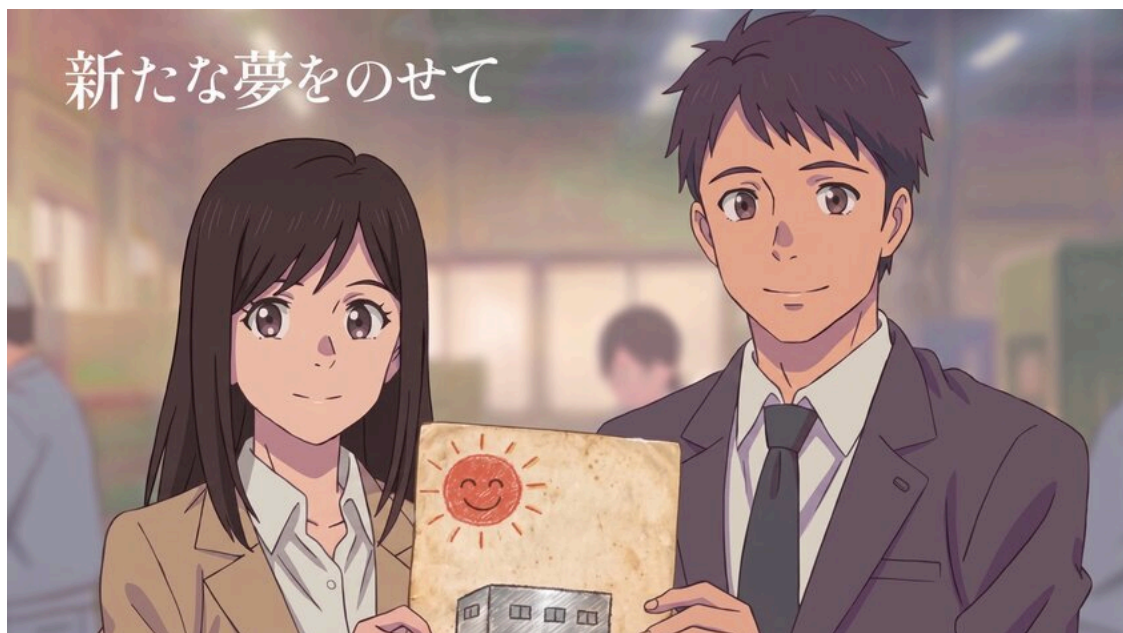
入社6年目、5年間ヒット商品を出せずにいるコンビニスイーツ開発担当・美咲。イチゴの研究をどれだけ積み重ねても届かなかった「決め手」を、カフェで見かけた50代夫婦の何気ない光景の中に見出します。データではなく「誰が、いつ、どんな気持ちで」、顧客理解の本質を描く物語です。



6年目の私 ～コンビニスイーツ開発物語～

「新たな夢をのせて ～事業承継物語～」

売上減少に悩む広島の中堅印刷会社。事業承継に迷う社長の茂と、コンサルティング会社で活躍する一人娘の薫。M&A売却か、廃業か…その二択の先に、父と娘が選んだ「事業承継の新しい形」を描く物語です。



新たな夢をのせて ～事業承継物語～

作品視聴URL : <https://kirocutokioku.jp/movie>

【制作スタッフ(両作品共通)】

企画・脚本 : 甲斐 博一(記録と記憶)

監督 : 有馬 顕(記録と記憶)

生成AI制作 : 記録と記憶
AIディレクター : 曾根 剛
声の出演 : 野中 綾乃、藤田 辰哉、武内 玲奈、神戸 誠治、酒井 孝祥
音楽制作 : 作詞 甲斐 博一(記録と記憶)
歌 Kaori
楽曲制作 KENTARO SEINO

■代表取締役CEO 有馬 顕のコメント

生成AIを映像の一部素材として活用する例は、CMなどでも増えています。しかし、十数のシーンからなる物語全体を生成AIで構築したフルアニメーション作品は、まだ極めて珍しい存在です。さらにそれを、顧客理解や事業承継といった企業の経営課題を描く「物語」として制作した例は、当社の知る限りありません。

AIが表現の可能性を広げ、人が物語に魂を込める。映画監督としてフィルムと向き合ってきた私自身、この分業がもたらす表現の広がり到手応えを感じています。この制作モデルが、これからの企業コミュニケーションの新しい標準になると確信しています。

■今後の展開

当社は本制作モデルを、製品やサービスの紹介はもちろん、企業のブランドストーリー、周年記念、採用、事業承継など多くの場面で活用いただける「物語アニメーション制作サービス」として、本日より提供を開始します。詳細は当社Webサイトよりお問い合わせください。

■株式会社記録と記憶について

私たち記録と記憶は、「物語であふれる豊かな世の中をつくる」をビジョンに、2024年1月に設立。B2B企業を中心とするマーケティング支援と物語創造、動画およびコンテンツ制作、そしてそれらのインテグレーションを中心に事業を展開しています。以下、事業内容と会社概要を紹介します。

【マーケティングおよび戦略構築支援事業】

私たちはお客様企業の戦略をWho?(市場／顧客／顧客組織理解)とWhat?(提供価値定義)を軸に設計し、実行計画まで一貫して伴走します。その後、具体的なマーケティング実行計画へと落とし込んでいきます。新規事業戦略、および既存事業戦略再構築のどちらにも対応します。

【物語コンテンツ制作事業】

私たちはお客様の戦略を深く理解、あるいは戦略の構築そのものからお手伝いし、お客様企業そのものや製品／サービスの提供価値を市場と共有し、市場とお客様を物語によってつなぐことを重視しています。物語は様々な表現方法をもって存在しますので、伝達するチャンネルにあわせてコンテンツに展開します。

【会社概要】

社名 : 株式会社記録と記憶

本社所在地 : 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2丁目8番11号 VORT水道橋III 8F

代表取締役 : 有馬 顕

共同創業者 : 甲斐 博一

事業内容 : マーケティングおよび戦略構築支援、コンテンツ制作

設立 : 2024年1月

Web : <https://kirokutokioku.jp>

本件に関する取材・撮影・インタビューを歓迎しております。担当者への取材調整や追加素材の提供も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。 <報道関係の方からのお問い合わせ先> 株式会社記録と記憶 広報担当 : 石塚 TEL : 090-4070-4407 MAIL : yishizuka@kirokutokioku.jp

プレスリリース画像



6年目の私 ～コンビニスイーツ開発物語～



新たな夢をのせて ～事業承継物語～